

2019年度 事業計画

I 施設の設置・運営事業《公益目的事業(WAC事業)、その他事業1・2》

- 公益目的事業：WAC法に基づく施設(疾病予防運動センター・高齢者総合福祉センター・在宅介護サービスセンター・有料老人ホーム)の設置および運営
- その他事業1：疾病予防運動センターのうち60歳未満の利用者(全利用者の3割相当)に該当する部分
- その他事業2：介護老人保健施設・訪問看護ステーション・ケアプランセンター(奈良事業のみ)

*WAC(ウェルディングコミュニティ)事業:

1989年に厚生省(現厚生労働省)が「ふるさと21健康長寿のまちづくり事業」としてスタートさせた施策で、地域で暮らす高齢者が健康で安心し、生きがいを持って暮らせるまちづくりをめざして、地域全体に社会福祉サービスを提供するために、健康・福祉施設を総合的に整備する事業

(1) 奈良事業

(厚生労働省WAC認定事業：1990年10月17日付)

① 疾病予防運動センター (WAC第1号施設)

【 ニッセイ・アーク西大和 】

○地域社会との連携・交流

- ・2018年度より業務委託先が株式会社コナミスポーツクラブからセントラルスポーツ株式会社に変更になり、四半期毎のレッスンプログラムの見直しなど会員数の拡大、パーソナルトレーニング・プライベートレッスンの強化を図ることで売上増を図り、また、ウェア・シューズ等の物販を開始します。
- ・一部マシンの更新、設備の修繕を行い、入居者及び地域会員へのサービス維持の向上に努めます。

② 診療所 (WAC第1号施設付置診療所)

【 ニッセイ聖隷クリニック 】

○地域社会との連携・交流

- ・奈良ニッセイエデンの園内における有料老人ホームの協力医療機関として、緩和ケアの実践と看取りのサポート体制を更に強化していきます。また、入居者の「健康管理」「健康づくり」を更に支援していきます。
 - ・地域のニーズに応えられるようリハビリ体制を強化し、短時間通所リハビリ(介護保険サービス)を開始します。
- 外来では認知症外来を実施することで、入居者・地域患者の受診に繋がります。また、受診者確保に向けて、健診の各種キャンペーンを継続して行います。
- 入院では個室5部屋について環境整備を実施し、個室料(3,000円/日)を算定します。

③ 高齢者総合福祉センター (WAC第2号施設)

【 ふれあいプラザ 】

○地域社会との連携・交流

- ・これまでの講座に加え、地域からの新規受講者の獲得を目指し、芸術に特化した新規講座「オペラ講座」「美術講座」を開催します。
- ・内容の充実はもちろん「より安全・快適な企画」を最優先に運営に取り組むため、8月(猛暑)、2月(感染症蔓延)については開催を取りやめます。
- ・各講座・イベントのアピールを充実させ、分析及びニーズの把握をし、事業の方向性を確認します。

④ 在宅介護サービスセンター (WAC第3号施設)

【 ニッセイいれい在宅介護サービスセンター 西大和店 】

○地域社会との連携・交流

- ・地域・行政の主催する地域包括ケア会議やヘルパー連絡会などの各種会議へは継続して参加し地域連携に努めます。その中で、他事業所のケアマネジャーとの交流を深め、利用者獲得に繋がります。
- ・総合事業指定事業者として近隣市町や地域包括支援センター・地域居宅支援事業所・在宅事業所等との連携を密にし、サービス提供体制の更なる充実に努めます。

⑤ 有料老人ホーム (WAC第4号施設)

【 奈良ニッセイエデンの園 】

○地域社会との連携・交流

- ・「地域連携グループ」を中心にした活動を継続し、「認知症啓発イベント:RUN伴」やフリーマーケットなど、地域住民との交流を更に深めていきます。また、地域支援事業への講師派遣など、地域貢献を継続して推進します。
 - ・地域との防災に関する協力を推進し、災害時の協力協定を締結します。
 - ・地域における「介護サービス」の拠点および「学び」の拠点となるための整備を引き続き推進します。
- 「エデン版地域包括ケアシステム」の中心となる「いきいき生活室」の安定運営と入居者の理解・参加へと続くような仕掛けを作っていきます。
- 「高齢者と認知症にやさしいエデンづくり」を更に深めるために、認知症ケア(パーソンセンター・ド・ケア)と認知症理解への教育を継続します。
- 大食堂、医療介護棟の食事委託業者との協力体制を更に強化し、サービスの充実に努めながら食事満足度と喫食数向上に努めます。
- 入居者募集においては、今後も引き続き入居者募集機能を強化することで高い入居率の維持に努めます。
- 職員間の連携を密にし、増室した介護居室を含めて、必要な方への住替えを推進します。
- 身体拘束、虐待防止の勉強会の継続実施と取り組みを強化していきます。
- 働き方改革への取り組みや障がい者雇用の促進など、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
- 感染症予防対策、防災・防犯対策の徹底とコンプライアンスを意識した運営を図ります。
- 「人財育成委員会」を中心に、園全体の勉強会を年間計画に沿って実施し、サービス・接遇能力の向上にむけたスキルアップに繋がります。

⑥ 介護老人保健施設 (WAC併設施設)

【 奈良ベテルホーム 】

○地域社会との連携・交流

- ・地域・行政・他事業所との連携を図り、利用者が望まれる施設での生活支援及び在宅復帰、在宅療養の支援を実践していきます。また、リニューアル整備した施設環境のもと、利用者にとって安心・安全な生活を提供します。
 - ・家族介護教室(地域の方対象)の開催や、地域の総合事業への積極的な関わりを通じて、地域住民に高齢者福祉の理解を深める働きかけを継続して実施します。
- 在宅強化型老人保健施設として、在宅復帰を希望される方への個別サービスの提供と在宅復帰後の居宅支援サービスを実施します。また渉外活動を継続し、利用者を積極的に受け入れ、安定した経営に努めます。
- 利用者個々の利用目的や異なるニーズに応えるために、個別ケアのスキルアップの他に、家族とのコミュニケーションを密に行い、サービスの質の向上と満足度アップに繋がります。

⑦訪問看護ステーション（WAC併設施設） 【訪問看護ステーション西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・近隣医療機関との連携を密にすると共に、地域事業所や地域住民対象の研修会等を行い、利用者獲得に繋がります。また、重度の利用者の受入れ対応ができるように質の高いケアの提供を目指します。

⑧ケアプランセンター（WAC併設施設） 【ニッセイいれいアップセンター西大和】

○地域社会との連携・交流

- ・地域包括ケアシステム構築に向けて地域行政や他事業所と協議する中で、連携強化とケアマネジメントの質の向上を目指し、信頼され選ばれる事業所になるよう運営していきます。

②松戸事業（厚生労働省WAC認定事業：1994年12月15日付）

①疾病予防運動センター（WAC第1号施設） 【ニッセイコントロールフィットネスクラブ松戸】

○地域社会との連携・交流

- ・地域イベントへの参加などにより、地域での認知度アップに向けた活動を継続するとともに、地域会員数の拡大を図ります。
- ・「ニッセイ松戸アカデミー」と連携し、参加型イベントの充実を図ります。

②診療所（WAC第1号施設付置診療所） 【松戸ニッセイ聖隷クリニック】

○地域社会との連携・交流

- ・各課との連携を強化し、各職種の特性を活かしたチーム医療の実践により、入居者、利用者、患者へ安心と信頼を提供します。
- ・外部患者や住民健診の受け入れ拡大も視野に入れ、地域への貢献、地域医療連携の充実に努めます。

③高齢者総合福祉センター（WAC第2号施設） 【ニッセイ松戸アカデミー】

○地域社会との連携・交流

- ・エデンの園のノウハウを地域にお住まいの方にも還元できるよう、介護予防に重点を置いた企画の展開を継続していきます。
- ・イベントに合わせて地域の障がい者施設や福祉施設の出張販売場所として積極的に活用してもらうことにより、地域支援・交流に貢献します。
- ・園の紹介記事を増やした地域向け広報紙を継続発行だけでなく、イベントポスターを近隣自治会にも直接配布して更なる交流を図ります。

④在宅介護サービスセンター（WAC第3号施設） 【ニッセイエデンヘルパーステーション】

○地域社会との連携・交流

- ・多様化する介護内容の需要に対応できるよう、職員の意識の統一、研修参加等でサービス体制強化に取り組めます。
- ・近隣地域主催の意見交換会・サービス提供事業所向け説明会等に積極的に参加し、交流および情報収集に努めます。

⑤有料老人ホーム（WAC第4号施設） 【松戸ニッセイエデンの園】

○地域社会との連携・交流

- ・松戸市および松戸市立福祉医療センター東松戸病院等との連携、情報共有を密にし、今後の地域連携の一翼を担う施設として「松戸市しあわせの村構想の次なるステップを具体化する」を実行していきます。
- ・コンプライアンスの徹底や、障がい者雇用の促進など、社会的責任への取り組みの充実に努めます。
- ・松戸ニッセイエデンの園に関わるすべての人々が共有し遂行する目標として定めた「松戸ビジョン」の具現化を図り、すべての入居者にとって「我が家」となる施設の実現を目指します。
- ・入居検討時から最期まで、その人らしい生活を支えるシームレスなサービス体制のさらなる発展を目指します。
- ・入居者サービス充実のため、接遇意識の向上だけでなく、気づきのある職員の育成に注力します。
- ・入居者参画型の企画・行事を充実させ、孤立しがちな入居者のコミュニティづくりを目指します。
- ・松戸市指定の災害時の一時避難所として、近隣施設との連携を深めるだけでなく、防災活動に積極的に参画します。
- ・入居者の協働・参画を得ながら、園全体で環境・省エネ活動を推進します。

Ⅱ 調査研究事業《公益目的事業》

(1) WAC事業の展開の中で、高齢期の「健康」「生きがい」「安心」「住まい」の4分野(以下「4分野」という)に関するノウハウ・スキルの研究と成果の情報提供

○WAC事業に関連して、高齢期の生活向上に関するテーマで調査研究を実施します。

- ・「あんしん電話」をツールとした住民主体の見守り活動を公共性・汎用性の高い福祉サービス事業として捉え、その概要を明らかにするとともに、「あんしん電話」と連携した見守りボランティアの育成の在り方について検証を行います。
- ・高齢化率の高い地域における「あんしん電話」見守り活動について、これまでの実践研究を総括し、その間の取組みにおける諸課題をまとめ、今後とも持続可能で、安心できる、有意義な活動を保証するための方策等について考察を行います。
- ・人間生活の基本である「歩行能力」の向上を中心に、筋トレや脳トレを含む集団プログラムをニッセイ・アーク西大和において実施するなど、介護予防の普及に貢献する集団プログラムの開発に協力するとともに、その効果を検証します。

○奈良施設・松戸施設の各職場内で4分野を題材にした調査研究並びに発表会(福祉学会)を開催し、その研究成果について関係諸機関等への情報提供に努めます。

<社会福祉法人聖隷福祉事業団との共同研究>

(2) 地域住民等への4分野に関する情報提供活動の実施

- 有料老人ホーム等の高齢者施設の情報提供の一環として、4分野に関わるテーマによるイベントやセミナーを開催するとともに、高齢者の理解と援助を推進する外部イベントへの参加を行います。
- ・11月の「介護の日」では、奈良・松戸両施設内にて介護イベントを開催し、地域高齢者およびその家族に向けた介護・医療・福祉の知識向上への取組みを継続します。
- ・認知症・介護予防を目的とした研修や講座の開催を通じ、高齢者が生き生きとした生活を送れるよう、生きがい・役割づくりの啓蒙、地域住民への情報提供に努めます。

Ⅲ 奨学金助成事業《公益目的事業》

○介護福祉士・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士という介護事業を担う人材の育成を支援する観点から介護福祉士等を目指す学生に奨学金を支給します。

以上